

月刊しばうら

2020年1月号

謹んで新年のご祝詞を申し上げます
旧年中は格別のご厚情にあずかり心より御礼申し上げます
本年もなお一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます

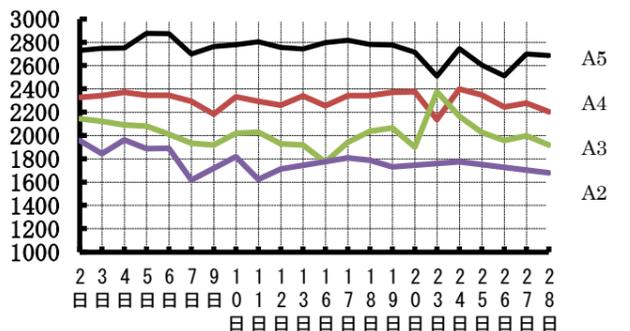
令和二年元旦

大動物事業部

<12月の相場動向>

12月の牛枝肉相場は、和牛去勢 A5 が前月比 30 円安の 2,763 円（前年同月比 202 円安）、同 A4 が 118 円安の 2,325 円（同 378 円安）、同 A3 が 164 円安の 2,011 円（同 515 円安）、同 A2 が 143 円安の 1,776 円（同 501 円安）、交雑去勢 B4 が 90 円高の 1,853 円（同 39 円高）、同 B3 が 59 円高の 1,694 円（同 5 円安）、同 B2 が 22 円高の 1,512 円（同 50 円安）となった。交雑はしっかりと相場展開であったのに対し、和牛は下位等級ほど低迷し、前年対比で大幅に下落する展開となった。

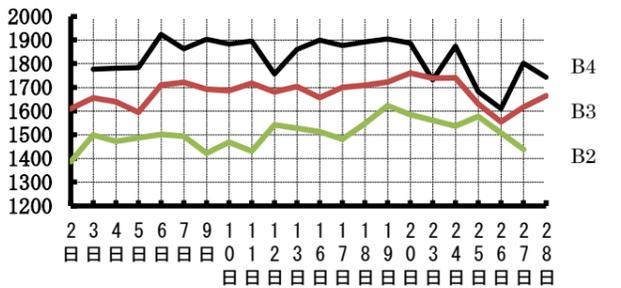
和牛去勢 日別相場表（12月）



和牛去勢（月平均）

A5	2,763 円	（前年同月比 93.2%）	（前月比 98.9%）
A4	2,325 円	（ " 86.0%）	（ " 95.2%）
A3	2,011 円	（ " 79.6%）	（ " 92.5%）
A2	1,776 円	（ " 78.0%）	（ " 92.5%）

交雑去勢 日別相場表（12月）



交雑去勢（月平均）

B4	1,853 円	（前年同月比 102.1%）	（前月比 105.1%）
B3	1,694 円	（ " 99.7%）	（ " 103.6%）
B2	1,512 円	（ " 96.8%）	（ " 101.5%）

乳牛去勢（月平均）

B3	上場なし		
B2	847 円	（前年同月比 97.6%）	（前月比 89.2%）

<1月の牛肉輸入量予測>

財務省の貿易統計による11月の牛肉通関量は前年同月比 8.5%減の 4 万 7,294t となった。内訳は、チルドは 14.0%減の 2 万 1,403t、フローズンは 3.3%減の 2 万 5,891 t となっている。農畜産業振興機構による1月の牛肉輸入数量予測では前年比 5.3%減の 4 万 7,900 t で、チルドは 1.7%増の 20,000 t、フローズンは 9.7%減の 27,900 t と予測している。1月は為替や TPP11 発行に伴う税率の引き下げを見越して輸入業者が通関を繰り越したことにより輸入量が多かった昨年同月をかなりの程度下回ると予測している。

輸入牛肉通関量		11月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	13,626	15,024	90.7%
	米国	6,511	9,925	65.6%
	その他	5,754	1,834	313.7%
	合計	25,891	26,783	96.7%
フローズン	豪州	9,551	11,882	80.4%
	米国	9,726	11,466	84.8%
	その他	2,126	1,532	138.8%
	合計	21,403	24,880	86.0%

単位：t 出典：食肉速報

<1月の全国出荷頭数予測>

家畜改良センターの個体識別データから予測される令和2年の出荷頭数は、品種別でみると黒毛和種は 46.9 万頭、交雑種は 23.2 万頭、乳牛は 16.3 万頭で黒毛和種は 2%前後の増、交雑種及び乳牛は引き続き昨対割れの展開と予測している。

農畜産業振興機構による、1月の出荷予測頭数は、前年比 0.5%減の 7 万 9,200 頭と予測。品種別にみると和牛は 2.1%増の 3 万 3,100 頭、交雑種は 1.3%減の 1 万 8,200 頭、乳牛種が 3.8%減の 2 万 6,600 頭としている。東京食肉市場の1月と畜頭数は 6,550 頭を予定しております。

<1月の牛枝肉相場見通し>

年明け直後は休市期間が長いこともあり補充買いが見込まれるものの、中旬以降は卸問屋の在庫状況によっては相場形成に影響を及ぼす可能性を含んでいる。月の後半にかけて出荷頭数は減少傾向にあるものの、依然として消費が低迷している状況にあるため、枝肉仕上がり状態によって同一等級内でも価格差が生じる相場展開が予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,700~2,800	B4	1,700~1,800
A4	2,500~2,600	B3	1,600~1,700
A3	2,300~2,400	B2	1,450~1,550
A2	2,000~2,100		
乳牛去勢			
B3	1,050~1,100		
B2	950~1,000		

小動物事業部

11月の全国と畜頭数は、前年同月比 4.9%減の 141 万 8,225 頭と減少した。豚卸売価格は前年同月より 6.0%高の 477 円、東京は 3.9%高の 456 円、大阪は 17.6%高の 508 円となった。また、11月の豚肉通関数量は 8 万 2,763t（前年同月比 0.8%減）となった。前月比でも 1.5%の減少。内訳はチルドが 3 万 6,449t（8.7%減）減少した一方、フローズンは 4 万 6,314t（6.4%増）と増加した。

2018-2019年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
11	82,254	83,346	18,435	144,982	81,925	86,093
12	79,338	73,146	19,394	140,967	78,307	77,161
1	79,477	61,703	19,643	144,246	79,203	58,424
2	75,590	81,638	19,818	147,097	72,334	78,787
3	74,058	68,303	21,221	145,268	72,588	70,432
4	77,788	98,235	22,544	167,222	76,406	76,281
5	75,254	84,396	21,643	184,963	76,085	66,655
6	67,048	76,246	23,332	183,952	65,290	77,257
7	74,899	83,315	21,828	192,531	76,348	76,736
8	67,745	84,982	20,615	200,018	68,891	77,385
9	68,819	78,125	20,351	197,854	69,025	80,399
10	79,112	83,940	20,128	198,840	79,247	82,954
11	77,534	82,715	21,804	191,175	75,817	90,380
比	94%	99%	118%	132%	93%	105%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：t、%

11月豚肉通関実績						単位：t、%		
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比			
アメリカ	17,489	81.6	デンマーク	8,760	103.6			
カナダ	18,141	105.1	スペイン	9,750	115.5			
メキシコ	817	67.4	メキシコ	8,281	115.5			
			アメリカ	3,228	76.9			
			カナダ	4,100	120.4			
合計	36,449	91.3		46,314	106.4			

<12月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
2日	67,600	504	482	653
3日	68,100	511	484	809
4日	70,000	540	496	659
5日	70,000	476	465	630
6日	69,900	493	485	891
7日		511	482	495
9日	68,200	535	485	826
10日	70,200	525	494	872
平均	68,714/日			729/日

出荷頭数は安定して推移しており、相場も 500 円前後での価格が続いた。スーパーでは特売などが組まれるケースもみられるが末端消費は引き続き鈍く、全体的に荷余り感があった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
11日	71,300	585	522	655
12日	71,600	494	476	700
13日	70,000	513	488	984
16日	68,600	520	475	740
17日	72,900	504	480	908
18日	72,700	521	501	654
19日	75,300	499	485	740
平均	71,771/日			768/日

全国と畜頭数は 7 万頭を上回る日が続き 19 日には 7 万 5,000 頭を超えた。相場は、年末に向けた手当はピークを過ぎ 500 円台前半の展開となった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
20日	74,100	515	484	924
23日	76,900	580	495	748
24日	79,000	534	492	930
25日	76,800	541	524	744
26日	75,400	509	457	644
27日	48,800	438	380	930
28日		416	378	448
平均	71,833/日			766/日

一部の銘柄が相場を押し上げたこともあるが 26 日までは前年最終週を大きく上回る相場展開となったが 27 日、28 日は大幅な下げとなった。

<1月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による1月の肉豚出荷予測では 137 万 2,000 頭（前年比 96%）と予測している。当市場の1月集荷予定頭数は 1 万 7,000 頭、1日あたりでは約 850 頭を見込んでいる。

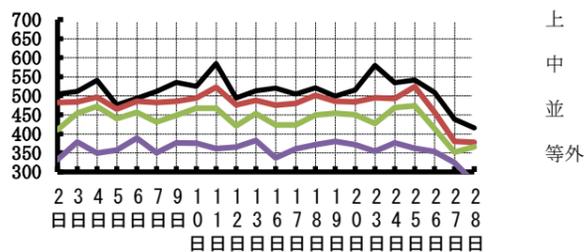
農畜産業振興機構によると1月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 3,100t（同 118.5%）、内訳はチルドが 3 万 2,500t（同 103.4%）、フローズンは 4 万 6t（同 134.2%）と予測。

冷蔵輸入量は、前年同月やや上回ると予測する。なお、3ヶ月平均では、前年同期をやや下回ると予測する。冷凍品輸入量は、TPP11 及び日 EU・EPA の発効を見据えた通関保留により前年の輸入量が少なかったことから前年同月をかなりの程度上回ると予測する。なお、3ヶ月平均では、前年同期をかなり大きく上回ると予測する。

1月は消費者の年末年始における出費の反動もあり、基本的に需要が鈍る時期となる。学校給食の再開や、成人の日による3連休に向けた手当てなどで相場は若干盛り返すことが期待できるが、連休明けは徐々に相場は下げの展開となることが予想される。

以上のことから当市場の上物。平均価格は 470 円前後、中物平均価格 450 円前後の展開と予測する

豚 日別相場表（12月）



東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>

出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。